

R7 宇美中学校 第79回体育会（後半①）

令和7年5月17日（土）

体育会の後半戦は、ブロック競技と宇美中ソーラン節、ブロック対抗リレーでした。3年生を中心としたブロックの団結、そして伝統の宇美中ソーラン節は圧巻でした。各学級を代表する選手によるブロック対抗リレーは体育会の締めくくりにふさわしい盛り上がりとなりました。結果は出ましたが、みんなの表情に「仲間と力を合わせ、やりきった」という思いが表れていました。

○ブロック競遊「背渡しリレー」

背渡しリレーは、各ブロックの1～3年生が中腰になり背中道をつくり、そこを代表の生徒が渡っていき、男女でリレーしてタイムを競う競技です。上を渡る人が渡りやすいように、高さを調整したり、素早く移動したりと見た目以上にハードな競技です。上を渡る人も、スピードを出して走らないといけません。足場が不安定だったり間に合わなかったり走るスピードを変えたり、背中の上でバランスをとるのが難しかったりと大変でした。どのブロックも、リハーサルよりも速いタイムで練習の成果が見られました。











○ブロック競遊「タイフーン」

タイフーンは、1～3年生で4人グループをつくり、その4人で竹の棒をもって走ってタイムを競う競技です。走るのが直線ではなく、数個のコーンを回らないといけません。そのまま回ると遠心力で外にふられて、大きなタイムロスとなりますので、コーナリングをどれだけ工夫するかがポイントです。また、バトンタッチのやり方が、全員が竹の棒を跳んで頭の上を通して次のグループに渡すというところでも、どれだけタイムロスをなくせるかがポイントです。最後は、アンカーが一人で竹の棒をもって走り、ゴール地点に立ててゴールです。その力強い姿も見所の1つです。















○ブロック競遊「3人4脚リレー」

3人4脚リレーは、各ブロックの1～3年生が3人グループに分かれ、隣の人と足をバンドでつないで走り、リレー形式でタイムを競うという競技です。タイミングを合わせるのが難しく、止まってしまうグループもありましたが、3人で息を合わせて、最後まで走り抜きました。中には、一人で走っているスピードと変わらない速さのグループもあり、驚かされました。









